

迷いやすい症例から学ぶ ジエネラリストの診断力

Clinical Problem Solving

目次 -Contents-

はじめに	宮田靖志, 濱口杉大	3
巻頭カラー		12

総論 1 診断エラーをしないための思考法 宮田靖志 16

- 1 診断の思考過程にはどのような種類があるのか
分析的方法と非分析的方法
- 2 診断の思考過程で、医師の頭の中はどうなっているのか
エキスパートは少ない情報から容易に正確な仮説を形成する
- 3 診断の誤りはどうして起こるのか
臨床推論のエラーは不適切な認知処理に起因している
- 4 認知エラーを減らすためにどうするか
“愚か者は自分を賢者と思い、賢者は自分を愚か者だと知っている”
認知的バイアスに陥りやすい人は、自分の意思決定に自信をもっている
- 5 陥りやすい認知心理を理解して診断エラーを防ごう
Cognitive pills for cognitive ills : 認知的疾患に認知的処方をしよう
- 6 診断エラーを防ぐ12の秘訣

総論 2 総合内科医の新しい臨床推論トレーニング 濱口杉大 36

- 1 臨床能力を磨くプレゼンテーション法
Diagnostic Presentation
- 2 発症の形式と時間経過から診断にせまる
Time Course Illness Script Analysis

case 1 胃腸がおかしくて、食欲がありません… 濱口杉大 44

91歳女性。入院10日前から腹部全体の間欠的疼痛が出現し軟便傾向になった。1週間前から食欲がなくなり、食事をすると下痢をするようになった。2日前からは腹痛に加えて1日3～4回の水様性下痢となり、全身倦怠感を伴ってきたため受診した。

case 2 部活後から腹痛が治まりません…

岩田啓芳 53

16歳男性。午前中に部活の短距離走練習を水分補給をあまりせずに激しく行っていた。その後、14時頃より左下腹部痛が出現し徐々に増強するため、近医を受診。ブスコパン[®]20mgにて鎮痛が試みられたが、症状の改善がみられなかつたため紹介受診した。

case 3 おなかが痛いんです… と認知症のおばあさんが…

日下勝博 62

87歳女性。腹痛を訴えベッド上で動けなくなり、家族に連れられて受診した。「腹が痛い、痛い…」としきりに訴えるが、一見して重篤感はないようと思える。患者さんには認知症があり、当を得た病状説明ができないようなので、家族からの話をつなぎ合わせて病歴聴取を開始した。

case 4 動悸がして倒れたんです…

若林崇雄 70

76歳女性。朝から多忙だった日の夕食後、介護している夫をかがんだ姿勢で風呂に入れているうちに動悸と胸部の不快感を自覚し、気分が悪くなり嘔吐。その後、いつの間にか意識がなくなってしまった。1、2分で意識は回復したが大事をとて救急車を要請して受診した。

case 5 隆膜炎は治ったんですが、また発熱して 頸のリンパ節が腫れたんです…

大友 元 81

20歳男性。入院4週間前より38～39℃台の発熱・咽頭痛・頸部痛を生じ、3週間に頭痛・嘔吐をきたしたため脳神経外科病院に紹介され、ウイルス性髄膜炎と診断され治療を受けた。1週間前、発熱・右頸部痛が再燃したため対症療法を受けたが改善せず、紹介受診した。

case 6 突然熱が出て、全身が痛いんです…

濱田修平 91

64歳男性。前日夜に右手関節の疼痛を感じていた。今朝、全身の疼痛のためベッドから起き上がりせず、妻に起こしてもらって何とか座ることができた。体温は38.5℃であった。午後に入り手関節、膝関節が赤く腫れ、右手で箸を持つこともできなくなったため受診した。

case 7 2週間前から血便が出てるんです…

桃井 環 100

31歳女性。2週間前より排便時に右下腹部痛が出現し、便に血液が混ざるようになった。腹痛は鈍痛で間欠的であり、食事関連はなし。血液は赤色粘血調で、1日に1～2回中量みられた。自宅にて様子をみていたが改善しないため受診した。

case**8**

ニンニク注射をしてほしいんです…と20代の女性が… 病歴だけで診断する総合内科外来①

森崎龍郎 109

20代女性。「カゼ」で受診したいと受付をしてきた。待合室で検温したところ発熱はなし。外来看護師によると、見た感じは元気そうとのこと。予診票には「ニンニク注射をしてください」と書かれていた。

case**9**

病体がコワイんです…と40代の女性が… 病歴だけで診断する総合内科外来②

森崎龍郎 115

40代女性。強い倦怠感を主訴に近医を受診し、諸検査にて軽度の鉄欠乏性貧血がみられたが全身倦怠感の原因となるものは特定できなかつたため、本人から精密検査の希望があり紹介受診した。

case**10**

顔色が悪くて体がだるく、 足に力も入らないんです…

日下勝博 121

85歳男性。数日前から両下肢の脱力感を自覚していたが、徐々に増悪し歩行時にふらつくようになった。昨日からは家族に顔色不良を指摘されるようになった。今朝、起床時から強い全身倦怠感が出現しベッドから起き上がりがれないと救急車で受診した。

case**11**

救急隊より受け入れ要請。80歳代 女性、吐血、黒 色便で、血圧70mmHg台です…

岩田啓芳 131

80歳代女性。2、3日前から黒色便を自覚し、悪寒を訴えていた。受診当日は夕方まで特に訴えはなかった。夕食後の20時に嘔吐をし、吐物は赤色であった。その後、全身の強い倦怠感を自覚したため救急車を要請し受診した。

case**12**

神経内科、整形外科、泌尿器科で診てもらっているんで すが、身体がむくんできたんです…

高橋早織 142

80歳男性。Parkinson病、左背部痛、前立腺肥大症・神経因性膀胱のため、神経内科、整形外科、泌尿器科に通院していた。1ヶ月前より下腿浮腫が目立つようになったため利尿薬を処方され一時軽快したが、2週間前より再び出現し1週間前からは全身の浮腫と尿量減少がみられるようになり、全身倦怠感が著明となつたため紹介受診した。

case**13**

熱が出て体が痛くて治らないんです…

加藤隼悟 152

80歳女性。以前から肺気腫を指摘されていたが、日常生活は問題なかった。一ヶ月前から徐々に倦怠感が出現し、一週間前に38℃の発熱と両下肢の筋肉痛を認めたため近医を受診し、肺炎を疑われて5日間治療を継続した。しかし発熱は続き、食欲が低下し1ヶ月で1～2kgの体重減少もみられたため紹介受診した。

case 14 8日前にトイレで力んで倒れ、5日前から吐いているんです…

山田和美 160

74歳男性。8日前にトイレで力んだ直後に数分間の意識消失を起こしたため近医に救急搬送されたが、諸検査で異常を認めなかつたため帰宅。6日前に腹部不快感と腹満感があり当科を受診し消化管内視鏡検査を予定した。5日前から食欲低下を認め、前日夕方より嘔気を伴い頻回の嘔吐をするようになったため再診した。

case 15 皮膚科で治療しているんですが、蕁麻疹が一向によくならないんです…

福井慶太郎 172

73歳女性。約半年前から、特に誘因なく発症した頸部以下の搔痒を伴う皮疹を主訴に皮膚科を受診し、内服薬とステロイド外用薬の処方を受けていた。しかし、症状が一向に改善しないため受診した。

case 16 微熱と頭痛が3週間も続いているんです…

阿部昌彦 182

39歳男性。約3週間前から微熱と頭痛があり、2週間前にかかりつけ医を受診し風邪の診断で処方を受けた。1週間前には頭痛のためMRIを受けたが異常なし。発熱と頭痛が続くため受診した。

索引 192